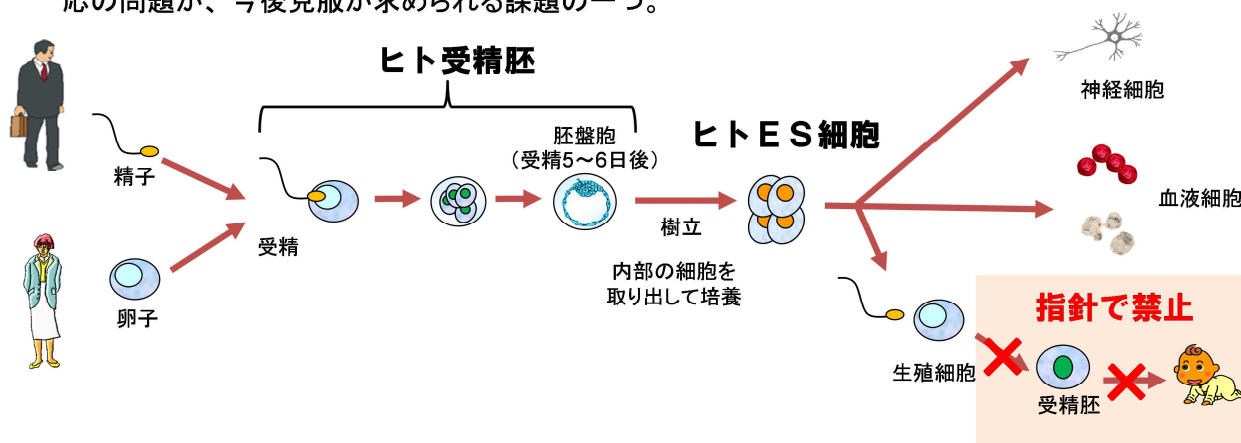


ヒトES細胞とは

○ヒトES細胞(胚性幹細胞:Embryonic Stem Cell)とは:
受精後5~6日程経過したヒト胚から取り出した細胞を培養して得られる細胞

○ヒトES細胞の特長:

- ・人の体のあらゆる細胞に分化する能力(多能性)や、ほぼ無限に増殖する能力(自己複製能力)を持つことから、医療への応用が期待。
- ・一方で、「人の生命の萌芽」であるヒト胚を滅失させる、生殖細胞(精子・卵子等)への分化を通じて個体の生成に結びつき得る、という生命倫理上の問題を有するため、取り扱いには慎重な配慮が必要。
- ・ES細胞を用いた再生医療においては、移植細胞等が他者に由来することにより生ずる免疫拒絶反応の問題が、今後克服が求められる課題の一つ。



見直しの全体像

1. 現行制度		基礎的研究	臨床研究、医療※
樹立手続&樹立の倫理	樹立分配指針	ヒト幹指針 (治験等については、薬事法)	
品質・安全性			
利用手続&利用の倫理	使用指針		

2. 新制度		基礎的研究	臨床研究、医療※
樹立手続&樹立の倫理	樹立指針	再生医療等安全性確保法 (治験等については、改正薬事法)	
品質・安全性			
利用手続&利用の倫理	分配使用指針		

 文科省
 厚労省
 文科・厚労両省共管

※予防、診断及び治療のみを目的としたもの。

赤字部分の指針を新たに策定するにあたり、CSTIへの諮問が必要